

「沖縄県若年層市場開拓事業」について

沖縄県は、他県と異なる自然環境や文化、歴史的遺産など多くの地域資源を有し、入り込み観光客数はこれまで順調に推移してきた。

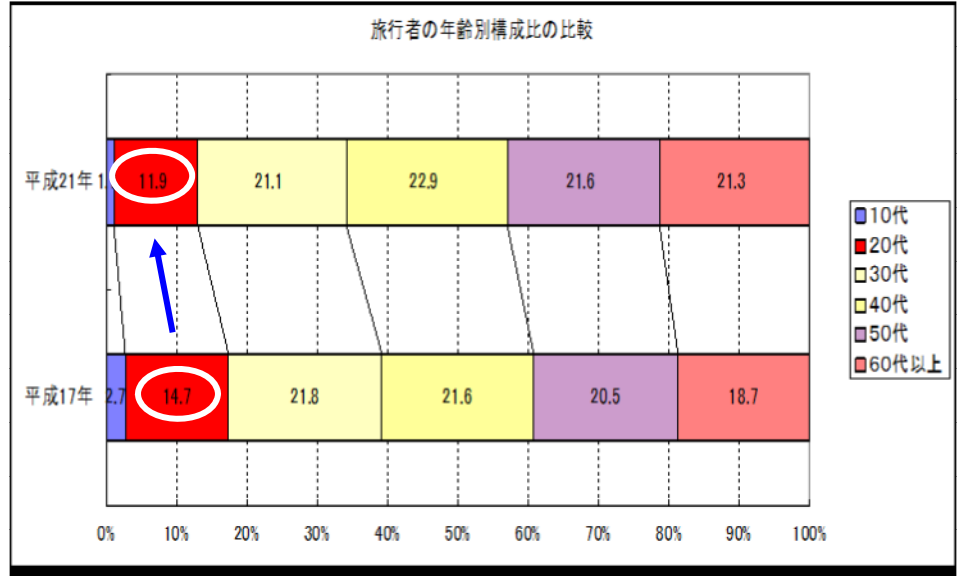
しかし、平成21年度の沖縄県への観光客数は8年ぶりに減少に転じた。また、平成20年度の沖縄県への観光客の属性を平成16年度のものと比較すると、20歳代の若年層、特に女性の旅行者の減少が目立つ。

今後、安定した沖縄観光の振興のために、これからのリゾートウエディングや家族旅行の中心となる若年層による旅行を促進することは、沖縄観光における重要な課題の一つである。

本事業は、若年層の旅行に対する意識等を調査・分析し、課題や方策抽出のための基礎資料及び新たな若年層旅行につながるコンセプトの掘り起こしをねらいとする。

「第二回若者旅行振興研究会」では2月4日(金)～6日(日)にかけて、実施されたモニターツアーの紹介と本事業の途中経過報告を行う。

■ 沖縄旅行者の年齢別構成比の比較



資料：沖縄県「観光統計実態調査」

■ 沖縄県若年層市場開拓事業内容およびスケジュール



平成21年と平成17年の沖縄旅行者の年齢別構成比を比較すると、20代は14.7%から11.9%へ減少している。